

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	GRIPキッズ東砂校		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年2月26日		～ 2026年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムの内容や療育中の過ごし方など利用者の満足度は高い傾向にある。	利用者のご要望やお悩みなどには迅速に対応し、療育のプログラムにも反映できるよう取り組みを行っている。	引き続き利用者が満足できるようなプログラムを考えていくとともに、様々な経験や新しいことにも挑戦できるようにしていく。
2	療育の環境としては心地よく過ごせる環境、児童の活動に合わせた空間になっている。	利用者はもちろん職員がよりしっかりとした療育ができるような空間づくりを心がけている。	机や椅子など古くなったものの改善や修復など適宜行っていき今後ともよりよい空間づくりを心がけていく。
3	平日19時まで行い中学生も受け入れている放デイが少ないようで区の自治体からも取り組みなど関心が高い	小学校から中学校に上がる際に送迎が原因で利用中止にならないよう小学生の段階から中学への通い方などを考え自立通所へ移行できるように取り組みを行っている。	中学生の時間での取り組み方、集団でのプログラムの内容の充実化を図っていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置人数や勤めていた方が退職に不安を抱えているところが多い。	現状の職員配置の不足などが利用者の方に見えてしまった。	引き続き職員人数の確保、職員人数に合わせた利用児童数の調整などを行いながら、利用者様が安心してご利用できるような環境を作っていく。
2	保護者会、地域との交流の場などがほとんどない。	利用者より特に要望などは聞いてないが、療育への不透明さや助言の少なさなどに繋がっている可能性がある。	必要やご要望に応じて対応していくとともに、何かしら家族支援プログラムや研修会、情報提供の機会等を少しずつ作っていけるよう検討していく。 地域交流は難しいが、他校舎との交流機会を作りながら
3			